

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

現在、全国の産科施設において以下の臨床研究を予定しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「高血圧出現時期と有意の蛋白尿（随時尿中タンパク／クレアチニン比 [mg/mg] > 0.27）出現時期との関係 - 多施設共同研究 - 」

[研究機関] 北海道大学病院、三重大学、大野レディースクリニック、福島県立医大、宮城県立こども病院、自治医大、筑波大学、国立成育医療研究センター、順天堂大学、日本医大多摩永山病院、浜松西部医療センター、聖隷浜松病院、三重中央医療センター、洛和会音羽病院、長崎大学、函館中央病院、札幌東豊病院、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）北海道病院、広島大学

[研究責任者] 水上 尚典（北海道大学大学院医学研究科産科生殖医学分野・教授）

[研究の目的]

妊娠高血圧腎症とは“妊娠20週以降に初めて高血圧を発症し、かつ蛋白尿を伴うもので、分娩後12週までに正常に復するもの”と定義されていますが、発症のメカニズムについては未だ十分に解明されていません。特に妊娠高血圧腎症の患者さんの中には蛋白尿が高血圧より先に出てくる例がありますが、一般妊婦の集団において、蛋白尿が先行する場合と高血圧が先行する場合のおのおのが占める割合についてはよく知られていません。今回、尿蛋白を測定した妊婦さんのそれら結果と高血圧出現時期の関係、妊娠の帰結等について検討することを目的としました。

[研究の方法]

● 対象となる方

2014年4月1日～2015年3月31日に当施設で分娩した妊婦さんのうち、尿蛋白検査を実施した妊婦さんと褥婦さん。

● 利用する診療情報

年齢、分娩週数や方法、合併症、お子さんの性別や体重、尿検査結果と血圧情報

[個人情報の取り扱い]

私どもが利用する情報には、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれていません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

*本研究にこれらを利用することについてご了解いただけない場合は、以下[問い合わせ先]にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院産科 担当医師 水上 尚典

電話 011-706-6932 FAX 011-706-6932